

# 一般質問

議員20人が登壇

## 市政を問う!

第3回定例会の一般質問は、9月20日、21日、24日、及び25日の4日間行われました。今回は20人の議員が登壇し、市政全般にわたり市当局の見解をいただきました。その中から、いくつかの質問と答弁の要旨を紹介します。

なお、このコーナーは、登壇した議員が自ら、市当局の答弁に基づき、記事の編集を行っています。

### 一般質問通告一覧

(※議員名の前に付いている番号は質問順序です)

①黒須 光男 1 亀山市長の疑惑の回送と帝王学への対処について	⑬櫻田 誠子 1 次代を担う子ども育成について 2 健康対策について 3 小、中、高、保育所等のアレルギー対策について
②千田 直人 1 第3セクターの運営について 2 市立病院再建計画について 3 「ガレキ処理」「補助金チョロまかし」事件について	⑭西條 正昭 東日本大震災からの復旧復興について 1 被災地域農業復興総合支援事業について 2 仮設住宅等からの早期退去に向けた恒久的住宅整備について 3 復興交付金事業について
③遠藤 宏昭 1 市民の求めるまちづくりを、正しく推進できているか	⑮石森 市雄 1 集団、高台移転について 2 民間復興住宅について 3 牡鹿地区の課題について
④森山 行輝 1 大川小学校について	⑯高橋 誠志 1 市長の政治姿勢について
⑤水澤富士江 1 住まいの再建とまちづくりについて 2 災害廃棄物処理について	⑰堀川 禎則 1 震災復興基本計画について 2 後世に伝える震災について
⑥長倉 利一 1 野球場の現状と今後の課題について 2 防災訓練について	⑱阿部 正敏 1 ボランティア活動への市民要望の変化と今後の要望について 2 牡鹿半島部の街づくり計画と跡地利用について 3 加工団地内(魚市場背後地)の中小企業等グループ施設等復旧整備補助事業について 4 平成24年7月10日山下地区町内会長連絡協議会から石巻市に対する要望事項について 5 希少建築物の保存について
⑦安倍 太郎 1 政治姿勢と市政運営について 2 震災復興計画について	⑲庄司 慈明 1 多重防御・二重防御、解体工事 -安全・安心の街づくりの視点から- 2 湊小・湊中の復旧復興工事 -子どもは宝の思いを込めて- 3 石巻市立病院の再建・再生 -地域医療の担い手を、いま再び-
⑧大森 秀一 1 震災復興基本計画について 2 命を守る防波堤について 3 桃生の諸課題について	⑳阿部 純孝 1 石巻駅周辺地域土地利用構想及び交通改善方策(案)について 2 市長の政治姿勢について
⑨山口 荘一郎 1 石巻市震災復興基本計画の進め方について	
⑩後藤 兼位 1 震災から復興へ向けての行財政運営について	
⑪青山 久栄 1 確かな復興に向けて 2 北上地域の課題について	
⑫千葉 眞良 1 市立病院の再建にむけて 2 可住・非可住地区の住宅支援について 3 湊地区の可住地区の整備について 4 堤防、国道・県道の可住地区の整備計画について 5 被災地住宅解体後の除草について	



黒須 光男 議員

**問** 松本清張の「犯罪の回送」という小説は、完全犯罪と思われた手の混んだ工作があだとなったものだ。がれき処理の不適切会計疑惑は、資料の提出を拒み、さらに証言前の宣誓拒絶、議会及び議員を民事で訴えるなど、矛先を変え煙に巻く手段を取った。

「作業日報や不備な完成写真は市当局の業者に對する特別な配慮があったと疑念を抱く」当局は調査機関を設置するなど真相を追究する姿勢が必要だったのではないかと、という百条委員会の結論と告発に對して、当局の所見を伺いたい。

**答** 検証委員会について、早急に取り組む必要があると考えている。

**問** 「権力を握れば三年でバカになる」が、市長は二年にして、「右顧左眈しない政治」を標榜された。また議会は、野党が多数となり、四苦八苦し直言苦言を言える人物を傍らに置かず、リーダーの器量に欠けているのではないかと。

※右顧左眈とは・・・  
まわりの情勢や思惑・意見を気にして、なかなか決断できないでいること。

**答** 議会との間に、意思疎通が欠けているのであればしっかりと反省し、今後も協調しながら進めていきたい。



千田 直人 議員

・第三セクターの運営について

**問** 榊かほく上品の郷・(財)石巻市文化スポーツ振興公社等運営状況を伺う。

**答** 上品の郷は、昨年度利用者数122万人、経常利益8、900万円の好業績、利用満足度を高め、文化スポーツ公社は、生涯学習施設の指定管理者や経営等安定化を検討している。基本財産に手を付けられないような方策を今後検討する。

・市立病院再建計画について

**問** 石巻駅前決定だが津波冠水や道路が渋滞し不適地、用地選定過程も不透明、再検討を求める。

**答** 一階は駐車場とし、交差点は問題ないと評価を得た。緊急車専用の跨線橋を設置する。早期着工に向け優位性を考慮し、駅前を選定した。

・「ガレキ処理」補助金チヨロまかし」事件について

**問** 百条委員会調査と告発について伺う。

**答** 市は関係資料提出や証人喚問要請に対し誠実に対応してきた。今後は、司法当局の動向を注視し警察の捜査に全面的に協力する。



遠藤 宏昭 議員

・市民の求めるまちづくりを、正しく推進できているのか

**問** 再開予定の石ノ森萬画館の周辺整備の進捗状況は。

**答** 25箇所、萬画館契約駐車場のうち、12箇所、1000台が利用可能である。  
また、現在も通行できない内海橋の歩道は、今年度内に完成予定である。

**問** 石巻駅周辺道路整備について。

**答** 交差点需要率や車線混雑度等の検証により、右折車線の明確化や信号時間の調整等、交通規制による交通渋滞緩和策をまとめた。

**問** 小中学校の通学路の危険個所の把握と安全対策は。

**答** 横断歩道、道路標識、街灯の設置、減速マークの路面標示等を講じる。蛇田中学校区では、新市街地造成工事に伴う、大型ダンプトラックの交通量の増加が懸念されるため、安全教育の充実を図る。

また、通学路を横切る市道向陽町二・新山崎線(向陽町と道下との間の堀沿いの一方通行路)は、道路の地下埋設物も被災しており、水道企業団と協議を行い、平成25年度の工事完了を目指す。



森山 行輝 議員

・大川小学校について

**問** これまで行われた遺族会との話し合いについて、理解が得られたのか。

**答** 七月の話し合いで説明が曖昧であったこと、八月二十一日に実施した現場確認作業の概要について報告しているし、第三者機関による検証についても、御遺族の皆様を理解を求めている。残念ながら、十分な共通認識ができていない。これまでの対応において、御遺族が不信感を抱いていることも否めない。

**問** 遺族の理解が得られないのは、市教委が公文書として保存している中で、例えば、教員の発言に信憑性がないことやメモが破棄されていて、子どももの証言が全く残っていない等、多岐に渡っている。メールのやり取りを確認するのであれば、校長の携帯から読み取れるし、早急に相互理解に向けて努力し、第三者による検証をしっかりと行い、当市の学校防災についてまとめるべきであると思うが。

**答** 遺族との相互理解に向け、努力する。



水澤富士江 議員

・復興住宅建設の促進について

**問** 一日も早く入居できるよう加速を。

**答** 買い取り型の公募等、多様な整備手法を取り入れていく。

**問** 進ちよく状況は。UR都市再生機構の活用を。

**答** 土地取得は50%、マンパワー不足なのでURに建設を要請する。

**問** 阪神淡路大震災の教訓―七百人を超える孤独死、高齢者の入居の偏りによりコミュニティの維持ができない―を生かし入居のルール等検討会を立ち上げ、見通しを立てるべき。

**答** (仮称)入居等運営検討会議を年内に立ち上げる。

・災害廃棄物の処理単価について

**問** NHKスペシャルで、石巻市の処理単価が東松島市の7倍と報道されたが、本当か。

**答** 環境省の調査結果は、「7倍もの開きがでは考えられない」とのことである。



長倉 利一 議員

・防災訓練について

**問** 「自分の命は自分で守る」を念頭に、全市民が「とにかくにげっぺ」をスローガンに実施された防災訓練の総括について伺う。

**答** 避難に特化した訓練を、市内全域を対象に実施した。訓練は、19%の参加率であった。

**問** 河南・桃生消防団による水防訓練が、桃生植立山公園で実施されたが、石巻消防団全体で取り組むべきと思うが。

**答** 東松島市消防団を含めた2地区団の輪番制で開催している。訓練は災害時に大変有効であるので、輪番制のあり方等について調整する。

・野球場の現状と今後の課題について

**問** 市民球場や河南球場に、グラウンドキーパーやスタッフを常駐させて、維持管理を強化すべきと思うが。

**答** 開設当初から、グラウンドキーパーを含む常駐職員等を配置せず、利用者の協力により運営している。利用者によるグラウンド整備の徹底及び関係団体との連携を密に協力体制の充実を図り、支障のないよう努める。



安倍 太郎 議員

・震災復興計画について

**問** 買い取り型公募住宅制度について、県からマニュアルは示されたのか。

**答** 県で作成されたスキームに基づき、市としての要綱等の編成作業を行っている。

**問** 市独自の買い取り基準は、土地の買い取りを含めないで、借地する考えか。

**答** 土地建物を一括して買い取る方式を想定し、再開発地は、保留地を買い取る方式とする。

**問** 買い取り公募範囲は。

**答** 都市計画区域内の市街地を想定している。

**問** 他自治体では、手続きの短縮化、事業を迅速に進めるため、一括発注方式を採用しているが、本市の発注手法は。

**答** 新蛇田・新渡波地区は従来の発注方式で複数年契約などの対策を行い、工期の短縮化を図る。

・政治姿勢と市政運営について

**問** 総務部と企画部を統合し、所掌事務を見直し、復興業務にマンパワーを集中すべきでは。

**答** 事務事業、組織のあり方について、検討する。



大森 秀一 議員

・新エネルギー等の活用について

**問** 先進的エネルギー利用や管理の仕組みを構築し、大幅な二酸化炭素排出量が削減できるスマートコミュニティの構築をすべきと考えるが。

**答** 経済産業省のスマートコミュニティ・マスタープラン策定事業による補助金を受け、マスタープランを策定中である。9月末に成果報告書を提出予定で、11月に認定が受けられれば本市、企業と連携し、事業を進めていきたい。

・桃生小学校のプールの改築について

**問** 昨年より施設の老朽化や地盤沈下により使用出来なくなっているが、早急な対応を。

**答** 地質調査終了後、実施設計業務を行い、来年度に改築工事を行う。施設の早期復旧に取り組む。

・山田渡船の現状と対応について

**問** 山田渡船が運航休止の状態であるが、現状と対応は。

**答** 船頭の急逝により運休中である。山田船場維持組合役員と協議中であり、山田地区の方々と懇談を予定しており、協議のうえ対応したい。



山口 莊一郎 議員

・復興基本計画の進行管理について

**問** 復興基本計画内の事業が復興基本計画実施計画から漏れている。基本計画と実施計画の関連性を示し、修正を図るべき。

**答** 実施計画策定段階では、一定の計画熟度に至らなかつた事業がある。毎年実施する見直しに併せて事業を追加し、基本計画からトーンダウンせぬようチェックを進めていく。

・復興への財政課題について

**問** 可住地域での住宅再建支援や復興交付金事業計画に対する国の矛盾した理論に対して、被災地の声を議会と共に上げていくべき。

**答** 住宅再建支援については、ようやく事務レベルでの聞き取りが行われた。5市町連携会議で連携を取って進めるとともに、議会とも一体となって進めていきたい。

・市立病院移転について

**問** 移転に向けた市長の決意は。

**答** 市立病院は地域医療、地域包括ケアの拠点であり、早期再建が必要。開院までステップ1の渋滞対策は絶対にやり遂げたい。



後藤 兼位 議員

**問** 震災から復興へ向けての行財政運営について

**答** 将来を見据えた財政収支見通しを毎年度策定し、行財政改革推進プランの見直しを行い、適正かつ健全な行財政運営に努める。

**問** 災害公営住宅の早期完成を目指せ。

**答** 全体整備戸数は当面四千戸と想定、用地が確定し、設計段階が三八九戸、全体の約10%である。

**問** 防災集団移転事業の現状と課題について、合意形成を図り早期の住宅供給着手を目指せ。

**答** 新蛇田地区について、土地区画整理事業により全体約88ヘクタールのうち47ヘクタールが事業認可を得て造成工事に向けて準備。残り41ヘクタールのうち24ヘクタールについては、現在交渉中で10月に判断する。

**問** 早急な市立病院の再建に向け、医師・看護師等の確保をいかに果たすのか、伺う。

**答** 人を確保するには、病院をいつ始めるのか明言出来ないと話の持って行きようがない。中々工事ができないでいると、時間が長くなれば石巻市は困窮していかないのではないかと集めにくくなることから、市立病院の早期着工を望みたい。



青山 久栄 議員

・確かな復興に向けて

**問** 風力発電設備を、工業港周辺や漁港内に設置し、避難タワーとしての活用や養殖施設の管理、環境浄化、あるいは海岸牧場として自然エネルギーの創出、防災、観光、産業への利活用を図りたい。

**答** また風車は、量産組立なので地域産業の育成、雇用の創出に繋がる。導入できないか。  
**答** 興味深い提案なので勉強させてもらおう。

・特殊公務災害認定の対応について

**問** 北上総合支所や雄勝病院では、迫りくる危険の中で、住民の避難誘導等にあたりながら不幸にも亡くなられた職員がいる。四十余名の特殊公務災害認定に向け、市として行動すべきである。

**答** 命を賭して職務を全うした事実を認めて頂けるよう、でき得る限りの支援を行う。

・北上地域の諸問題について

**問** 大震災の影響により各地区で陥没がみられ、冠水が常態化している。抜本的な内水排除対策を。

**答** 吉浜、宮田沢、曾呂美、喰迫、善助沢川は堤防嵩上げ、松崎地区は排水ポンプを改修する。



千葉 眞良 議員

**問** 湊地区の可住地域の整備について

湊地区の可住地域となった土地への取り組み状況、そして整備事業をどのように進めるのか。

**答** まとまった地区から順次着手

取り組み状況としては、復興まちづくりにあたっては、地主の方々の生活再建を短期間で回復させると共に、将来に向けて安心して暮らせるまちづくりを目指している。そのため住民主体のまちづくりを基本として、職員不足を補うため、専門的な知識や技術を持った民間コンサルタントを派遣して、地区町内会単位での、土地区画整理事業の勉強会などを行いながら、事業化に向けて、地域住民の合意形成を図っているところである。そうした時、「大門町三、四丁目町内会」では、土地区画整理事業の実施に向けて、大きく前進しており、他の地区においてもまちづくり協議会が組織されるなど、まちづくりに向けた活動が進んでいるところである。

整備事業の進め方については、市が事業主体となつて行うこととなるが、今後は、地元の意見集約を図り、コンサルタントの協力を得ながら、住民の意向を反映させた具体の計画案を作成し、まとめた地区から順に2月予定の都市計画決定、事業認可取得し、平成25年度には着手したい。



櫻田 誠子 議員

・次世代を担う子どもたちの育成について

**問** 小中学生の七割が、復興活動に関わりたくいと考  
えている。積極的に子どもたちの意見を聞き取りし  
ながら形として残せないか。

また、女性の視点からの意見も反映させよ。

**答** 具体的な復興事業の進ちよくに合わせ、子ども  
達の意見が出やすい公園整備などに反映させたい。  
実際に復興事業に携われるよう努める。

更に、女性の視点も生かせるよう、審議会等へ  
の女性登用に基準を設け、改選時に登用したい。

・健康対策について

**問** 各がん検診や特定健診の受診率アップをどう図  
るか。おたふく風邪、水痘の予防接種に市として  
助成事業を検討すべきではないか。

**答** 受診向上のため、土・日、夜間の実施を拡充。乳  
がんの視触診モデルの導入や、子宮頸がんワクチ  
ン接種の更なる周知を図る。

**問** 本市では食物アレルギーの子どもの数が284名い  
る。正しい知識と理解がなければ命に関わる。研  
究と共通理解の必要性は大きいと考えるが。

**答** 今後、統一した指導表を作成し、連携を密にす  
る。



西條 正昭 議員

・被災地域農業復興総合支援事業につ  
いて

**問** 認可された「北上食料供給体制強化特区」のカ  
ントリーエレベーター整備は、事業費14億円で国  
の補助率100%で建設されるが、一番心配され  
るのが来年の収穫期まで間に合うのか。また、使  
いやすい機種なのか伺う。

**答** 北上、河北地区の農業者を対象に共同で利用で  
きる施設を本市で整備するものであり、非常に厳  
しいスケジュールであるが、来年初には、稼働で  
きるよう取り組んでまいりたい。

・仮設住宅等からの早期退去に向けた  
恒久住宅整備について

**問** 新蛇田市街地をはじめ、半島部の高台移転はど  
う進んでいるのか。また、仮設住宅等の入居でき  
る期間を考えると、災害公営住宅の整備を急ぐべ  
きと思うが。

**答** 半島部の移転先団地は48地区を計画しており、  
そのうち24地区が大臣同意を得ている。11月にも  
同意を得ることとしており、全体の約9割が大臣  
同意を得る予定になっている。また、市街地にお  
ける災害公営住宅の建設は防災集団大街道西二丁  
目等、3地区で設計に着手。半島部での建設は防  
災集団移転事業と併せて進めて参ります。



石森 市雄 議員

**問** 高台、集団移転の進ちよく状況は。  
**答** 11月まで全地区、国の同意を得て、平成25年か  
ら26年度の造成完了を目指す。

**問** 被災土地の買取り価格を早く示すべき。  
**答** 140箇所を鑑定し、今年中に示せる。

**問** 自主再建する方にも支援策があるべきだ。  
**答** 県、他市町村と国へ要望している。財源を確保  
次第、遡及可能なものから対応していく。

**問** 被災した南浜門脇地区に、沖縄の美ら海水族館  
のような大規模施設を造る考えは。雇用、観光の  
面から石巻復興の起爆剤になるのでは  
**答** おもしろい提案である。検討に値する。

**問** 県道石巻鮎川線の復旧が遅れているか。  
**答** 県へ強く要望していく。風越2工区は、用地買  
収に手間取り、完工が平成30年度まで延びる。

**問** 本市の計画堤防はTP2.6mから39.7mであり、  
あまりにも高く、漁業の生業に支障をきたすとい  
う声が多い。再考すべき。  
**答** 住民や県と話し合い検討していきたい。



高橋 誠志 議員

・市長の政治姿勢について

**問** マニフェストの進捗状況と市民に対する報告はどうなのか。また、次年度以降、どのような形で市政に反映させようとしているのか。

**答** 「マニフェストに関する取り組み事業行程表」において、その進捗を管理している。四十七事業のうち三十九事業について達成している。また、市民評価は行わず最終年度までの取り組み内容を調査し、市報やホームページを通じ公表する。次年度以降については、「総合計画のリーディングプロジェクト事業」と震災復興基本計画事業として市政に反映させていく。なお、今後の課題として、御指摘のあった四つのテーマについては、気を引き締めて最善の努力をするよう努めて参りたい。

**問** 震災関連事業の進捗状況と、復興が遅々として進まないと言われているが、どのように分析しているのか。また、取り組み状況の周知手段について地元紙等のマスコミを活用してはいかがか。

**答** 事業の進捗状況については、議会や市民への情報提供を行う。また、市民の皆様の貴重な財産に関わる事業については、住民の合意形成が最も重要であり慎重に対応せざるを得ない。取り組み状況の周知については議員御指摘の手法も今後検討して参りたい。



堀川 禎則 議員

・震災復興基本計画について

**問** 避難ビル等の活用の方について伺う。

**答** 津波から命を守ることが絶対条件である。しかし沿岸部では高台等への避難に、相当の時間を要する地域もある。避難が遅れた市民、就業者、観光客などの命を守る最後の砦として設置する。

・後世に伝える震災について

**問** 残す建物はどの程度決まったのか。

**答** 賛否両論の意見があり、遺族や地域の皆様の心に配慮した判断が必要で、結論を出せずにいる。今後は「震災伝承研究会」の提言も踏まえ、選定と手法を検討する。

**問** 長く後世に伝えるためにも、時間をかけて

**答** まちづくりで早い判断が必要なものもある。施設の一部を保存することも検討する。過去の事例や専門家の意見も参考にして検討する。



阿部 正敏 議員

**問** 被災跡地の除草について、ボランティアによる除草作業は可能か。

**答** 関係機関と協議のうえ、可能かどうか検討する。

**問** 牡鹿総合支所大原出張所の再開について

**答** 人口減少など勘案しながら考慮すべき面はあるが、住民要望が強ければ、存続もあり得る。

**問** 加工団地内の中小企業グループ施設復旧整備補助事業について

**答** すでに84社が申請して47社が6月現在再開している。

**問** 第6次申請の見直しについて

**答** 第6次の公募スケジュールは、すでに事業者説明会が実施され補助申請に向けて準備を進めている。

**問** 避難訓練のあり方について

**答** 津波予想地域や内陸部など地域の実情に合わせた訓練を検討する。

**問** 避難場所である学校との協議について

**答** 避難所としてではなく、緊急一時避難所として指定し地域防災計画を見直した後、ハザードマップを策定する。

**問** 釜幹線水路埋め立て整備計画のスケジュールについて

**答** 本年度から進めている基本設計ができてからとなる。

**問** 陶芸丸寿かんけい丸について保存すべきではないか

**答** 建築物の調査を実施し、重要文化財指定についても視野に入れながら保存に向けて取り組んでいきたい。



庄司 慈明 議員

・市立病院再建・再生のために  
市民の命と健康を守る立場から

問 市立病院を失った現在の医療情勢は？

答 病床（入院ベット）不足は慢性化し、日赤の病床稼働率は100%となっている。患者・家族の負担を考えると、新病院建設は、緊急を要する課題である。

問 新病院の地域医療における役割は？

答 まず初期及び高度医療体制と、1.5次救急体制を確立する。また、医学的には退院が可能でも在宅療養に不安や困難を抱える方やリハビリが必要な方を受け入れる亜急性期病棟を新病院は準備する。さらに、在宅医療を飛躍的に強化し、緩和ケアにも力を入れる。これらの役割は、市民がこの石巻市に安心して住める条件づくりと理解している。

問 急性期医療は日赤で、その後は新石巻市立病院で、という切れ目のない医療の展開か？

答 その通りで、シームレスな環境を考えている。

問 医療だけでなく、切れ目のない健康・医療・介護（地域包括ケアシステム）の確立が必要では？

答 その役割を新病院が果たすことも重要と考えている。



阿部 純孝 議員

・石巻駅周辺地域土地利用構想及び  
交通改善方策（案）について

問 政策決定過程は。

答 石巻駅前が市立病院の建設予定地として決定されたことにより、交通渋滞をはじめ、今後の道路網の整備や、公共施設等の効率的な配置など、石巻駅周辺地域の整備方針を検討する。

・市長の政治姿勢について

問 東日本大震災発生後、①桃生総合支所における飲酒事件について、②臨時職員の贈賄事件について、③災害廃棄物処理業務委託等に関する業務と告発について、これら不適切な行政執行について、首長としての責任の所在を伺う。

答 一連の不祥事に対して、再発防止に努めるとともに復興に向けて全身全霊で当たることこそ私の身の処し方であると考えている。

問 関係職員は処分するも、自身の身の律し方は如何に。また、「一連の不祥事の責任の所在について後刻、対応する」と先の本会議答弁と一貫性が問われるが如何か。

答 すでに減給などで対応している。  
※減給は大震災による独自削減によるもの。

# 市議会 ホームページ

<http://www.city.ishinomaki.lg.jp/gikai/gikai.jsp>  
へアクセスしてください。

石巻市議会

検索

市議会ではホームページを開設しています。議会に関する様々な情報を掲載しています。議会の日程や「いしのみき市議会だより」で取り上げた内容等についても詳しくご覧頂くことができます。定例会や各委員会の会議録も検索できます。



## ご意見拝聴



議会運営について皆様のご意見をお聞かせください。

石巻市議会では、市民福祉の向上を目指し、開かれた議会運営に努めており、開かれた議会を推進し、市民の負託に応えるため「市民の声」を実施しています。

提案や意見は、議場傍聴席に設置している提案箱への投函、郵送、電話、ファクシミリ、電子メール等により随時受け付けしています。

### 《石巻市議会事務局》

〒986-8501 石巻市穀町14番1号  
TEL (95) 1111 (代表)  
FAX (96) 2274  
メール [assesc@city.ishinomaki.lg.jp](mailto:assesc@city.ishinomaki.lg.jp)

# 災害廃棄物処理業務委託等に関する調査特別委員会(100条委員会)が調査終了、記録提出拒否により告発へ

## 【調査趣旨】

本年4月に発行された一部週刊誌や新聞報道において、本市内に住所を有する一般社団法人石巻災害復興支援協議会の会長が代表を務める建設会社が、日本財団から同協議会に無償提供された重機車両を自社の廃棄物処理業務に使い、また、その際、ボランティアの活動記録写真を加工して使いまわすなど、建設会社との間で取り交わした災害廃棄物処理業務委託契約等において、不正な請求があったのではないかとする記事が掲載されました。そのため、市議会におきましても、本件について事実を確認するため、東日本大震災復興促進特別委員会を開催し、実態解明に努めてきたところでありますが、これまでの調査では、市当局からの明解な説明や十分な資料の提供がなされず、また、個人情報保護や情報公開規定などの制約により、既設の委員会での所管事務調査では、これ以上の実態解明が難しい状況にありました。



▲災害廃棄物処理業務委託等に関する調査特別委員会の様子

行政事務の監視・チェック機関である市議会としましても、この問題について事実を徹底的に究明し、明確な説明責任を果たす義務があると考え、建設会社、および、一般社団法人石巻災害復興支援協議会との間で業務契約を行った災害廃棄物処理業務委託等について、更に事実関係を明らかにするため、地方自治法第100条の規定による災害廃棄物処理業務委託等に関する調査特別委員会を平成24年5月31日、平成24年第3回臨時会において設置し、災害廃棄物処理業務委託及び石巻災害復興支援協議会の入浴支援業務委託、ボランティア調整管理業務委託に関する事項等について調査したものであります。

## 【調査結果と市に対する改善要望】

調査特別委員会の設置以後、14回の委員会を開催し調査した結果、建設会社の災害廃棄物処理業務委託契約の履行に関しては、建設会社の代表取締役より記録提出請求を拒否され、また、証人として出頭した際、宣誓拒絶により証言が得られなかったことから、完了写真の使い回しや日本財団から無償貸与された車両を当該業務に使用するなど不正請求の疑惑を解明するには至らなかった。

しかし、今回の調査で、建設会社の代表取締役が石巻災害復興支援協議会会長として、ボランティアと連携した災害廃棄物処理業務を実施することを市が承諾したことによって、当該建設会社は担当ブロックを超えた市内全域でのボランティアとの連携を含めた災害廃棄物処理業務が許され、業務完了から約3か月経過した、任意様式の作業員名のない日報や不備な完了写真による業務完了報告書が出来高検査において黙認され、またおよそ5千万円に上る委託業務が受付されてから審査請求まで1日で処理されるなど、市当局の当該業者に対する特別な配慮があったのではないかと懸念を抱く場面が散見された。

週刊誌や新聞報道で報じられ、社会問題化した建設会社の不正請求の疑惑について、本来であれば、市として緊急に真相究明し、適正な対応を取るべき必要性が高かったのに対し、市長はじめ担当部は議会からの告発すべきなどの指摘を受け入れるどころか、震災後の混乱を理由に既成事実の肯定に奔走するだけであった。担当部以外の幹部職員による調査機関を設置するなど、真相を明らかにしようとする姿勢が必要だったのではないだろうか。市当局は、今回の大震災の混乱により生じたさまざまな事例を教訓に地震や津波など大震災による混乱時における緊急業務の発注、業者への指示の徹底など各分野の仕組みづくりについて、また、市内外への各分野の業界団体との災害協定の締結の推進について調査・検討するよう要望する。

さらに、市の地域防災計画に位置付けられている災害ボランティアセンターにおける行政と社会福祉協議会の一体的な取り組みや、県と市、社会福祉協議会が結んだ覚書にあるそれぞれの責務について再確認されるよう要望する。



▲本会議で調査報告する丹野清副委員長

以上が、調査結果と市に対する改善要望であります。今回の調査過程において、建設会社の代表取締役が記録提出請求を拒否したことから、地方自治法第100条第10項の規定に基づき、石巻市議会は建設会社の代表取締役を告発しております。

# 特別委員会活動報告

## 総合防災対策特別委員会

8月27日、総合防災対策特別委員会を開催し、『女川原子力発電所の被害状況の概要と安全性向上に向けた取り組みについて』東北電力株式会社などから説明を受けました。

説明では、震災により外部電源5回線のうち4回線が停止し、2号機の補機冷却系非常用発電機が浸水により1系統が故障した。今後の対策として、今回の震災以上の津波を想定した3メートルの防潮堤を建設したことや、福島第一原発事故を踏まえ、水素爆発を防ぐベント装置を設置するなど、更に対策を進めるなどの説明がなされました。



▲総合防災対策特別委員会の様子

## まちなか再生促進特別委員会

8月22日、まちなか再生促進特別委員会を開催し、『中心市街地再生に向けての現状と今後について』石巻商工会議所との意見交換会を行いました。

その中で、石巻まちなか再生特区が認定されたことに関連して、中心部の付加価値を高め、採算に見合う投資が進むような対策を望む意見や、街中の定住人口を増やす方策として、災害公営住宅に着目する意見などが出されました。

その他、街中の人口動態調査の必要性や喫緊の課題として、立町通りのアーケードの存続問題などについて意見が交わされました。



▲石巻商工会議所との意見交換会の様子

## 東日本大震災復興促進特別委員会

8月7日、東日本大震災復興促進特別委員会が開催され、『石巻市震災復興基本計画 重点プロジェクトの状況等について』話し合われました。

その中で、市からは未来の伝承プロジェクトの中に盛り込まれた津波襲来を後世に伝えるための震災記録展示施設整備事業について、国立の震災博物館の整備を国に要望しているなどの説明がありました。

このほか、南浜町地区に市や県が国に要望している「国営祈念公園」に関しては、今年度中に基本構想、基本計画をまとめ、平成26年度までに実施設計を行うなどの説明がありました。



▲東日本大震災復興促進特別委員会の様子

# 常任委員会行政視察報告会を開催します

## 総務企画委員会

愛知県岡崎市

- ・防災体制の整備について

大阪府堺市

- ・情報公開について

兵庫県西宮市

- ・行財政改善の取り組みについて

## 保健福祉委員会

岡山県倉敷市

- ・介護保険いきいきポイント制度について
- ・介護手当について
- ・高齢者年金の支給について

広島県尾道市

- ・公立みつぎ総合病院における地域包括ケアシステムについて

香川県高松市

- ・公立保育所の民営化について
- ・こども園運営課の設置について

## 環境教育委員会

愛知県刈谷市

- ・「環境都市アクションプラン～低炭素社会をめざして～」について

三重県鈴鹿市

- ・鈴鹿市しあわせ環境基本計画について

兵庫県芦屋市

- ・防災教育について

## 産業建設委員会

熊本県宇城市

- ・高潮災害からの復興について
- ・水田の除塩（熊本方式）について

福岡県糸島市

- ・企業誘致について
- ・マリナー整備について

多くの皆様の傍聴をお待ちしております。詳細日時については、議会事務局へお問い合わせください。  
※詳細が決定次第、議会ホームページにも掲載いたします。

## 議会を 傍聴してみませんか？

本会議や委員会は、どなたでも自由に傍聴することができます。市議会議員の活動、市政を知るために、ぜひ傍聴してみませんか？

本会議の一般傍聴席の定員は40席、委員会は10席です。

会議当日、傍聴受付で住所、氏名を記入し、傍聴券の交付を受けてください。

傍聴券は先着順で交付いたします。

※次回の定例会は12月です。

詳細日程は、議会事務局へお問い合わせください。

## お知らせ

昨年3月11日に発生した東日本大震災により、本庁舎6階にありました議会棟は天井等が崩落し、現在使用不可能な状態となっております。本会議や委員会の開催にあたっては、当面の間、本庁舎5階の市民活動ルームを仮議場等として開催しております。

また、これまで実施しておりました議会中継についても、カメラ等の放送設備が破損したため、現在は、中継の実施が不可能な状態にありますので御了承ください。



## 議会トピック

### 石巻を考える女性の会の皆さんとの意見交換会を実施

9月28日、広報広聴委員会では石巻を考える女性の会(会長三浦ひかる氏)の皆さんと、「いしのまきの復興をひとづくりの面から考える」と題した意見交換会を開催し、防災対策や震災直後の地域課題などについて話し合いました。



▲石巻を考える女性の会との意見交換会

### 気仙沼市議会議員の皆さんとの意見交換会を実施

10月1日、石巻市と気仙沼市の両市議会は石巻市役所において、震災復興の主要課題である住まいの再建とまちづくり、産業再生について意見交換会を開催しました。

また、今後、市域を超えた議会連携を図り、国や県に要望していくことを確認しました。



▲気仙沼市議会議員との意見交換会

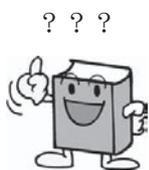
### 石巻市議会豆知識

Q 会期ってなに？

A 議会が会議を行う期間（開会日から閉会日まで）のことで、本会議開会後に議決により決定します。

Q 委員長報告ってなに？

A 本会議での採決の前に、付託された案件に対する委員会での審査内容及び結果を、主な質疑項目・討論内容・採決結果の形にまとめ、委員長が報告するものです。



### 「市民の皆様が開かれた議会」をめざします！

石巻市議会では、市民の皆様が開かれた議会をめざし、市内で事業活動を行う団体や市民グループ（10名以上）の皆様と積極的に懇談会や意見交換会を実施していきます。

市政や議会運営、市の重要な事項に関して、皆様の貴重なご意見やご提言を直接お聞かせください。

- ①団体名（代表者名）
  - ②参加人数
  - ③懇談のテーマ（1～2項目）
  - ④希望日時
- をお知らせください。

※詳細については議会事務局  
（☎0225-95-1111（内線5964））まで  
ご連絡ください。

## 議会の動き

### 8月

- 2日 市議会第4回臨時会
- 6日 災害廃棄物処理業務委託等に関する調査特別委員会
- 7日 東日本大震災復興促進特別委員会
- 20日 災害廃棄物処理業務委託等に関する調査特別委員会
- 22日 まちなか再生促進特別委員会
- 27日 総合防災対策特別委員会
- 28日 災害廃棄物処理業務委託等に関する調査特別委員会
- 29日 全員協議会、議会運営委員会

### 9月

- 3日 議会運営委員会、広報広聴委員会
- 6日 市議会第3回定例会開会（～26日まで）  
本会議（提案理由説明）
- 7日 本会議（決算、条例案、予算案審議）
- 10日 総務企画委員会（現地調査）
- 11日 総務企画委員会（書面審査）  
環境教育委員会（現地調査）
- 12日 環境教育委員会（書面審査）  
保健福祉委員会（現地調査）
- 13日 保健福祉委員会（書面審査）  
産業建設委員会（現地調査）
- 14日 産業建設委員会（書面審査）
- 18日 議会運営委員会、広報広聴委員会  
災害廃棄物処理業務委託等に関する調査特別委員会
- 20日 本会議（一般質問）

- 21日 本会議（一般質問）
- 24日 本会議（一般質問）
- 25日 本会議（一般質問）、議会運営委員会
- 26日 本会議（委員長報告、追加議案審議）、閉会  
保健福祉委員会
- 28日 石巻を考える女性の会と意見交換会

### 10月

- 1日 気仙沼市議会との意見交換会  
保健福祉委員会
- 4日 東日本大震災復興促進特別委員会
- 5日 2市1町特別職管理職研修会
- 14日 市議会第5回臨時会
- 15日 保健福祉委員会行政視察（～18日まで）
- 16日 総務企画委員会行政視察（～19日まで）  
環境教育委員会行政視察（～19日まで）
- 17日 産業建設委員会行政視察（～19日まで）
- 29日 総合防災対策特別委員会  
宮城県市議会議長会秋季定期総会（角田市）



### 11月

- 6日 全国市議会議長会特定第三種漁港協議会（東京都）
- 8日 宮城県議会議員・市町村議会議員合同セミナー（仙台市）
- 13日 全国市議会議長会基地対策連絡協議会東北部会総会（仙台市）

## 編集後記

震災から1年9か月が過ぎました。被災された皆様方におかれましては、今もなお、御苦勞を強いられていることと思います。

石巻市議会といたしましても、被災された皆様方の心が癒され、一日も早い生活再建、そして石巻市の復興・再生を願い、鋭意努力しているところであります。

本格的な復興や再生には、まだまだ課題、難題が山積しておりますが、この震災を新たなまちづくりのチャンスと捉え、今後とも取り組んで参りたいと思います。

市議会といたしましても、開かれた議会を目指し、多くの市民の方々や団体の皆様の御意見を伺って参りたいと考えております。また、「いしのみき市議会だより」もわかりやすい紙面づくりを心がけながら、議会での出来事や議会活動をお知らせしたいと考えております。

ぜひ、今後とも皆様の忌憚のない御意見をお寄せいただければと存じます。

広報広聴委員会副委員長 高橋 栄一

## 表紙から



▲「いもほり体操」で準備もOK

北村保育所で、10月9日、恒例となった秋の「芋ほり」が行われました。所庭内の菜園には、子供たちが春に植えたお芋のつたが大きく育ち、みんなで力を合わせながら、大小さまざまなお芋をほりあげました。中には顔の大きさほどもある芋をほりあげ子供たちもびっくり。最後には、カゴいっぱいの収穫となり、大満足の日でした。